

● その他全般にわたっての意見 →「3 自由記入意見」参照

問30. その他「人類共通の課題を扱う教育」全般にわたって、ご意見などありましたらお書きください。

「人類共通の課題を扱う教育」全般にわたるご意見を聞きました。
詳しくは、個別の自由記入文を、後述の「3 自由記入意見」の項に掲載しています。

3. 自由記入意見

次ページから、下記の自由記入方式による記述内容を原則として全文掲載しました。

なお、研修名や団体名などの固有名詞について、アンケート票からの読み取りのため、一部正式な名称と異なったり略称で書かれていたり、場合が想定されることをご了承ください。その他についても、読み取りにくいものについては、実際に書かれた内容と異なって記述している可能性もあることもご了承ください。

以上の点を考慮のうえ、お読みください。

問16. 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

問19-C. サポート種ごとの具体的な利用先名

問22. サポートする側に希望すること、留意してほしいこと

問26. 印象の強い研修の名称と主催団体

問27. 研修を企画する側へ希望すること、留意してほしいこと

問28. 参加している具体的なネットワーク

問30. その他全般にわたっての意見

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
世の中現実の問題が見えてくること。(教師も子ども)	小	—	40代	—
児童が異文化にふれることで、外国の良さや日本の良さを知ることができたとともに、外国(人)と日本(人)とのお互いのちがいはちがいで認め尊重し合えるようになったこと	小	男	—	—
学区を流れる川を取り上げ、子供の中から考え方を拾って、環境を考えたり、生き物とふれ合ったこと。外国人との交流で、修学旅行などの機会を利用して、多くの国の人と交流をしたこと。	小	男	—	—
子ども達の視野が広がってよい。	小	男	—	—
全学年で福祉問題に取り組み、社会的弱者に対する気持ちが変わってきた。家庭でも話をする機会をもち、地域全体での意識づけにつながった。	小	男	29以下	全教科
子ども達の前向きな取り組みが見られるようになったこと	小	男	29以下	理科
子どもたちの意欲的な取り組みが、様々な場面でみられた。	小	男	30代	—
毎年行っている国際交流集会。(JICAさんからも来ていただきましてありがとうございました)子供たちが外国の方ともしっかりと交流をしたい、外国のことをもっと知りたいという気持ちが高まりました。	小	男	30代	—
子どもたちの視野が広がる。(同時に教師の視野も広がった)感謝の気持ちを持つ子が増えた。	小	男	30代	体育
子どもが生き生きと活動や学習に取り組む。思いやりの心が育まれた。	小	男	30代	社会
ボランティアや環境、福祉などは子供が興味を持ちやすい。	小	男	30代	体育
子どもたち自身の生活に何らかの変化は多少見られるようになった。体験したことができるようになったとか生かせるようになってきた。	小	男	30代	全教科
英語活動の発展として国際交流活動を行い、他国の生活や文化にふれさせることができた。	小	男	30代	—
学校行事とのかね合いが難しい。	小	男	30代	なし
総合で取り組むうちに地区に住む無就学の外国人児童と交流が持てたり、団地全体で取り組んだ「外国人とのもちつき大会」の企画を子どもと参加できたこと。	小	男	30代	—
教員があまりにも知らないことが多いことに驚いた。そのため、よい勉強になった。	小	男	30代	全て
その場限りで継続して行えない。	小	男	40代	—
情報を発信する力は伸びてきている。	小	男	40代	—
子どもの意識がかわった。	小	男	40代	—
ALTに来ていただき、授業を仕組んだ。子供たちが英語を楽しく体験できた。障害者を講師に手話や車いす体験させたが、障害者の苦勞を体感できた。	小	男	40代	—
貿易ゲーム・ハンガーバンケット等の疑似体験を導入として南北問題に取り組んだ時、子どもたちが高い関心をもって活動した。在日外国人や海外在住経験者に直接話を聞くことで子どもたちの理解が深まった。	小	男	40代	校務主任
ごみ減量・ごみ分別の事識が高まった。	小	男	40代	—
調べ学習をきっかけに、児童の課題が広がり、幅広く見つけ、調べ考えることができるようになってきた。	小	男	40代	算数、道徳、総合
地域の人を中心として外部講師やボランティアの人たちとかかわり合いをもつようになり、児童が学校外での生活でもお世話になった地域の人たちと気軽にあいさつをするなど、児童と地域の人とのコミュニケーションが深まった、教師も視野が広がった。	小	男	40代	教務主任

■ 問16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果T

意見	学校	性別	年代	担当教科
福祉・障害者・高齢者…実際に、各施設を訪問し、人々とふれ合うことによって、これらの人々をあわれむべき人々ではなく、共に生きる人々であるということ、子どもたちは認識することができた。異文化理解…世界各地の文化、なかでも特に食文化について調べ、料理を作るなどの活動を通して、各国の人々の暮らしぶりについて、理解を深めることができた。	小	男	40代	小学校全科
調べ、そしてそれを表現し、伝えていく力が子どもたちに身についた。実際に体験し、驚きや発見につながるからだと考えている。	小	男	40代	—
地域の環境について、子どもなりに意識して生活するきっかけをつくることのできるようになった。体験を通じた学習のよさ(子どもの意欲向上など)を、実感した。	小	男	40代	理科
現実と直面して、具体的な事例の中で他人の立場を理解し、考えることができるようになった。人とのコミュニケーション能力が育ってきた。	小	男	40代	理科
現在の地球の真の姿がよくわかった。	小	男	40代	—
新聞、テレビなどのニュースに対し、今まで以上に関心を示す児童がふえた。	小	男	40代	算数等
交流や異文化理解は、実際に目にする、やってみることが、大切であることがよくわかった。	小	男	40代	特になし
外国人留学生との交流活動を通して、異文化の理解が図られたと思う。ただ小学校においては、小学生の生活の様子や遊ぶこと(伝承遊びやゲーム)が主なものとなり、異文化を知るにとどまり、認め合うまで高まらないところが課題となっている。	小	男	40代	社会科
他国の人たちに対して、臆することなくコミュニケーションをとろうとするようになってきた。	小	男	40代	4年生全科(音楽以外)
外部講師を招いて授業を行った結果、生の情報が得られるとともに、新たな課題が出てきて、主体的な学習を進める上で有効に働いた。	小	男	40代	—
実際の外国人と交流することは、子どもにとって印象が深く学ぶ大きなきっかけをつくることのできる。	小	男	40代	社会、書写
子供たちに、自分たちでやってみようという意欲が育ってきた。	小	男	40代	—
子どもたちに考える力や思いやりの心が芽ばえできた。	小	男	40代	教務主任
外国人留学生との交流によって、自分たちと外国人とが、同じなんだということを実感することができた。	小	男	40代	全て
総合の時間を中心に、今までそこまで追究して調べていけなかったことも追究できるようになり、上辺だけの学習でなくなったこと。それに伴って、児童の学習意欲も高まっていること。	小	男	40代	体育
外国人講師が子ども達の学びたい内容を親切に教えてくださった。	小	男	40代	算数、図工、特殊学級
子どもが思った以上に能力、意力を発揮した。	小	男	40代	社会科
日本の伝統的な文化についての学習	小	男	40代	社会
子どもたちが少しでも興味を持つことができた。	小	男	40代	数学
生命にかかわるもの	小	男	40代	—
総合的な学習の時間としてのスキルの修得	小	男	40代	—
人や社会とかかわることで、自分のあり方を見つめ直し、価値意識を更新していった。自分たちの思いを訴えることができた満足感を味わった。使命感を高めることができた。	小	男	40代	理科
子供たちへの将来に向けた問題提起の機会となった	小	男	40代	図工、家庭科
ごみの分別にしても環境の学習にしても、実践例がまだ広く伝わっていないころでしたので、とても新鮮な感じがし、子どもたちの目もきらきらかがやいていました。総合科だのと、1つの大きなくりで決めつけないようにすることが大切だと感じています。	小	男	40代	教ム主任

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
特に、17「ごみ、廃棄物、循環社会」については、社会科と総合学習とリンクすることで、深まった学習になった。	小	男	40代	理科のTT
少なくとも考えていくべきことだと考える子はふえたと思う。外国の人との交流会、「みんなおんなじなんだ！」の一言が聞けた	小	男	40代	担任
総合的な学習の時間に、環境の学習を取り入れ、水質検査、緑化(植林、育樹)活動を行った。	小	男	40代	全教科領域
子供たちが積極的になった。自分も新しいみかたができるようになった。発表や話し合うことができるようになった。	小	男	40代	—
子どもでも人類のために役立つとする意識があることがわかる	小	男	40代	—
日系ブラジル人の方との交流、調べ学習を通して、日系ブラジル人の方たちへの見方がかわりました。子どももそうですが知る機会がないと、ずっとそのままになってしまう。	小	男	40代	理科
人権についての講義学習	小	男	40代	全科
そもそも教師たるもの、社会経験に乏しい。社会の推移にも貧感である。まず、よかったのは、教師自身の人間としての幅が広がったことである。そうすることで、子どもの社会的事象に対する興味関心が高まり、問題解決の学習に発展していく。	小	男	40代	小全
地域のごみ問題について学年の発達段階に応じて学習し、児童、保護者、学校、地域の方々が協力して地域清掃を実施した。保護者の参加も多く、自分たちの地域を自分たちできれいにするという意識の高まりが感じられた。	小	男	40代	なし
体験活動を組み込んだ学習活動では、子どもの意欲や活動の充実が見られた。	小	男	40代	理科
児童の穏れたよさを引き出すことができた。一面的な見方から違う面からの見方・多面的な見方へと、児童の考えに変化があらわれた。インターネットや書籍、新聞記事などを積極的に活用し、「調べよう」とする姿が多く見られるようになった。	小	男	40代	理科、生活科、総合的な学習
戦争、平和、や児童労働の問題について、同世代の子どもレベルの問題としてとらえ、考えさせるようにしたところ、支援活動にまで発展した。	小	男	40代	全教科
授業の準備をすすめるにあたり、自分自身の見識が広がり、新たな価値観を学んだ。	小	男	40代	全教科
子どもが興味を持った。	小	男	40代	国、社、算、音、
子供とともに取り組んだことで、課題やその解決のための努力を共有できた。	小	男	40代	全般
自分とは生活も環境も異なり、つらい思いをして生きている人(子ども)が実際にいることや、その生活のきびしい様子を知ることができたこと。小さな援助など、自分たちに何ができるかを考え、実際に活動をし始めたこと。	小	男	40代	算数、理科、音楽
福祉実践教室 車イス体験・盲人ガイド・手話講習・点字講習	小	男	40代	社会
外国の人と直接ふれ合い、交流することで、児童が異文化理解に対して興味・関心をもち意欲的に学習を進めることができた。	小	男	40代	—
地域にある福祉施設を何回も繰り返し訪問して、福祉について体験を通して学ぶことができ、子どもの生きり力になったと思う。戦争と平和についての学習で、学校にある「青い目の人形」の歴史について学んだり、戦争の時代を体験した地域の人10人を招いて、直接話を聞くことができ戦争の時代をイメージできてよかったと思う。地域在住の中国出身の方やカナダ人のALTを活用してのクラブ活動で、いろいろな体験活動を通して異文化理解ができてよいと思う。	小	男	40代	国語科
国際交流では外国人の方に国の様子、暮らしなどを直接聞く機会があり、子どもたちもよく理解できた。	小	男	40代	全教科
「地域花だんづくり」春・秋に公民館や児童館などへ出かけ定植する。1年間地域の施設で花が見られると喜ばれている。「ノートテイク活動」難聴者の方々に、新聞の折りこみ広告の中で裏面の白いものを贈っている。(要約筆記用)	小	男	40代	図工

■ 問 16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
貿易ゲームをホームルームの時間に行ったら、他の教員も自分の学級で取り入れたこと。	小	男	40代	全教科
子どもたちにとって知らなかった国が身近な友だちの国になった。	小	男	40代	
戦争平和や児童労働の問題について、同世代の子どもレベルの問題としてとらえ、考えさせるようにしたところ、支援活動にまで発展した。	小	男	40代	全教科
4年①校区を流れる川(汐川)をみんなが遊べる川にするために自分たちに何ができるか考え、取り組んだ。例 ごみ拾い、草取り、ヘドロ取り、花植え、チラシ・ポスター・看板づくり、ホームページ これらを劇にまとめて、学芸会で発表した。6年②地域の池や道をきれいにし楽しめる場にするために考え、自分たちでできることに取り組んだ。例 ゴミ拾い、草取り、動植物調べ、水質検査、壁画作成 ※これらの活動を通して、自然や郷土を大切に作る心が育ったと判断している。	小	男	50代	小学校(書写、算数)
本校では「地域花だんづくり」を毎年春・秋にボランティアとして実施している。場所は、公民館や児童館など地域の人たちや子どもたちが集まる場所である。1年間を通して美しい花が見られると、好評である。	小	男	50代	—
各課題でボランティアの外部講師や保護者の参加が多くあり、大変助かった。	小	男	50代	理科
外部から講師をお招きしたり、現地へ出かけたりしての学習は、子どもの興味・関心も高まり、学楽を深めることができた。そうした学習に積極的に取り組んでいきたい。	小	男	50代	理科・算数
子供たちにとって実体験できないことを講師の方や外国の方から話を聞くことで視野が広がった。	小	男	50代	—
実際の取り組みの中で、問題点や課題が明確になるとともに、児童の理解を深めることができた。	小	男	50代	社会、道徳
校外学習や、外部講師の方から「生」の声に、子どもたちがふれられたこと、将来、いつか糧となる日が来ると考えます。	小	男	50代	なし
生命の尊厳・人間の尊厳について学習し、発表した結果保護者の反応もとてもよく子供たちも自分たちの生命の大切さについて再認識したようであった。また、環境学習の際には身近なものを再利用し今までゴミとして出していたものを再生し、保護者の方たちともいっしょに作業し好評を得た。	小	男	50代	—
取り組むを通して子どもたちに興味・関心をもたせることができた。	小	男	50代	理科
フェアトレードについて フェアトレードショップを行なっている人に来ていただいて、フェアトレードの や品物を見せながら話していただいたり、新聞資料でまとめたことは子どもたちにわかりやすかった。アジア・アフリカ料理を体験しよう 中国・ベトナム・アフガニスタン・東アフリカのデザートを作る活動を通して、国際 異文化理解をはかったが食を通すことにより子どもにも興味をもたせることができた。	小	男	50代	社会
3年のスパンでみて、子どもたちに、目標としてきた力が身につくことを、実感できる。英語を楽しく学ぶ中で、異文化理解を図る。外国の人と目と目をあわせて、あいさつが出来るなど。	小	男	50代	国際理解、情報、書写、図工、家庭科
小学校では内容的に難しい。社会科としても扱う内容のレベルはひじょうにかんたんである。子どもの生活意識とはなれすぎている。時間が不足している。学校独自で必要と思うものをやればよい	小	男	50代	社会
広い視野で子どもたちがものごとをとられるようになったこと(地球的規模で)・自己肯定感をもつ子どもの増加	小	男	50代	—
各分野で専門知識のある方から話を聞いたりすることは説得力がある。	小	男	50代	—
直接体験をとまなう内容は、子どもたちが興味をもって意欲的に取り組むことができる。	小	男	50代	社会
ユニセフ募金をインターネットで意味をしらべ、実際に募金活動をして、国際理解が深まった。本校では、4年生がネパールのアクアエイド活動(けいこうすいやく)募金をしてネパールの子どもの医療に協力している。その活動を通して、ネパールへの関心、交流が高まっている。	小	男	50代	全教科

■ 問16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
国際社会では何が問題になっているか、という問題提起ができたこと。子どもたちの視野を広げることができた。	小	男	50代	社会・書写
目先が変わって、子どもたちも意欲的に学習に取り組んでいる。	小	男	50代	担任
自ら調べたり体験したりすることで、対象に興味・関心をもてる児童が多い。プレゼンテーション能力が育っている。	小	男	50代	全教科(特に理科・社会)
ALTだけでなく近在の大学に留生している学生との交流を行った時、留学生にとっても触れあうことの楽しさを体感したようであり、意欲的であってよかった。もちろん、子ども達の姿もいきいきと交流を深めていた。	小	男	50代	—
人権、福祉、環境など、どの分野をあつかっても「人の幸福」のための学習である。子どもたちが家庭生活などでは真剣に考えたことのない内容を、学校で学びながら、その大切さ・必要性に気がついていく過程がいつもすばらしいと思えます。また、教師自身も、気持ちがありながらできなかったことを子どもと一緒に学んでいくのは、とても新鮮でした。こうしたことを、小学校時代に学んだ世代は、今の大人とはちがう面を将来みせてくれるのではないかと期待もあります。	小	男	50代	特になし
子どもたちにあらたな認識が生まれたこと。追求活動が深まったこと。	小	男	50代	社会・算数(少人数指導)理科(TT)
平和であることのありがたさを、子どもに気づかせることができたのではないかと。障害者との交流を通して、障害者の生き方にふれさせることができたのではないかとと思う。	小	男	50代	全教科
多くの人との出会いが増え、児童、教師ともに、視野が広がった。	小	男	50代	社会
児童の視野が広がり、豊かな心(思いやり、協力性)等が育つ。	小	男	50代	書、算数
マザーテレサをみつかったVTRを利用した人権についての学習	小	男	50代	理科・総合
福祉について、地域のバリアフリー度を調べて発表したこと。子供が、やさしい気持ちで接するようになったこと。	小	男	50代	図工
児童の視野が広まり、自分たちの住む社会、地球には、いろいろな問題をかかえ、努力する人々の存在を子供なりに理解するようになってきた。あわせて、自分の生活を振り返り、改善しようとする意欲が芽ばえた。自分の生活が、他と密接につながっていることを知り、いろいろな領域への興味・関心が深まってきた。異文化への関心が深まり、他国への思いやふくらんできた。	小	男	50代	—
英語活動…児童が英語に興味をもち、話すこと聞くことに対する抵抗が少なくなった。外国の方との交流…異文化に対する興味や理解が高まった。	小	男	50代	—
地域の公園づくりプランに総合的学習として取り組み、地域参加型の学習が展開でき、成果が上がった。	小	男	50代	国語、算数
高学年の場合、毎日のニュースなどで情報は得ているが、コマ切れでせつかくの大事な情報が生かされていないのがほとんどであった。授業を実践していくと、それまでの意味のない情報が現実の生活の中でつながり、意味を持つようになり、興味関心が出てきた。	小	男	50代	—
児童に学習する意欲が感じられた。	小	男	50代	—
本校の総合学習のテーマ「自分・地域」として1年生(1・2年生活科)から6年生まで系統的に学習を進めることによって、子どもたちも課題がみつけやすかった。テーマも身近であるからかもしれない。地域での環境・国際理解と高学年につれ、広がりを見せている。	小	男	50代	国語社会
共生、隣接する養護学校との交流を通して、人としての「やさしさ」を学んだと思う。	小	男	50代	—
国際理解のために、アフガニスタンの人の話を聞いて、実際の問題点を考えることができた。	小	男	50代	理科
本校では総合的な学習を研究した経過があるので、比較的自由に研究ができたと思うが、教員の資質があがったことや、子どもの意志決定が大切であることなどを知ることができ、よかったと思われる	小	男	50代	なし

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
子どもたちが、これまでは目を向けることのなかった事柄について、学習後は、TVニュースや新聞記事等で関連する出来事に興味を示すようになってきた。	小	男	50代	—
地域の自然や環境についての関心や理解が深まり、地域の歴史についても調査しようとする意識が高まっている。児童の課題意識、問題を解決しようとする気持ちが高まり、自主的な活動をする児童も出てきた。	小	男	50代	算数・国語
子どもたちの知識の幅が広がり、児童会活動が活発になってきた。まとめ方・調べ方・発表のし方が身につき、他教科でも役立っている。	小	男	50代	社会
外国への関心が高まった。	小	男	50代	算数
児童の視野が広がったり、よい経験になったりしたと思う。	小	男	50代	書写、算数
障害者の方との交流・高齢者との交流を行うことで、それぞれの苦勞を知り、今自分たちのできることにについて考えさせることができた。	小	男	50代	—
学区を中心に保護者や地域の人、お年寄りにインタビューや学習参加などをしていただいたことで、子供たちが学区の中の環境問題や自然、人とのかかわりに関心を高め、意欲的に活動や学習ができた。	小	男	50代	社会
最初から「人類共通の深題」を取り上げずに、地域教材を扱う中で子ども自身が問題に気づき、学んでいく方法を工夫したい。1年でまとめようとか解決しようと教師自身があせらずに、長い目でじっくりと取り組む姿勢を貫きたい。地域学習(ふるさと学習)は、人材を有効に活用して、教師ものめりこみたい。	小	男	50代	書写
いろいろな人と知り合えることができ、情報収集のネットワークが広がった。講師や資料についての情報が手に入り今後の指導計画を作成するさい多いに参考になった。	小	男	50代	理科
地域教材(窯、しいたけ、炭、遺跡、川)	小	男	50代	体育、図工、音楽、英会話
福祉、これまでに、車イスの方、耳の不自由な方、目の不自由な方に学校へお越しいただき、5年生を中心に福祉実践教室を行いました。多数のボランティアの方々にもお世話をいただき、とてもよい学習ができました。	小	男	50代	社会
関心をもった子が、更に学びを深めていく姿をみることができた。	小	男	50代	社会
コミュニケーション能力(平成15年度実施) ALTと教師(担任)が3週で2時間総合的な学習の時間に英語に親しむ活動を実施している。ゲームや簡単な会話など取り入れて行っている。子どものアンケートによると約80%の児童が「とても楽しい」「楽しい」と感じている。来年も継続して実施する予定である。	小	男	50代	—
ジェンダー・フリーについて教職員に関心を持ってもらった。	小	男	50代	外国籍児童の日本
児童の体験が広がり、国際理解への興味・関心が高まった。	小	男	50代	—
子どもたちが自分の生き方を考えるきっかけとなった。	小	男	50代	—
学校のビオトープを材料にして環境について調べたことを保護者、地域の方に説明会を行ったこと。	小	男	50代	理科
取り組んだ時は、子供たちの意識が高まる。マンネリ化しないように工夫しながら継続していきたい。	小	男	50代	—
・保育園児、老人ホーム等との交流により、弱者に対して子供が優しくなれる。・興味、関心が次々と広がっていく、意欲的な取り組みが教科学習にも生きてきた。・自己中心から「自分と仲間」「みんなの中の自分」と目線が変わった。・子どもたちの視野が広がった。幅広い思考ができるようになった。	小	男	50代	理科、書写、総合

■ 問 16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
11 保健、薬物乱用防止健康づくり(生活習慣病)については家庭へも課題を広げることが出来た。21セルフエスティーム、3年生以上の学年で取り組み、内3、4年は学校保健委員会のテーマとして保護者と共に学習できた。	小	男	50代	理科、図工
こどもたちの側に立って考えられる	小	男	50代	—
実際に体験すること自体に効果がある。	小	男	50代	国語・図工・体育
子どもなり視野が広がる。情報についての関心が高まる。既成の教科では学習、体験できないことができる。	小	男	50代	—
識字教育をフォトランゲージで行った。マリ共和国との比較をブレイン・ストーミングで自由に発言させたが様々な視点から考えが出て深まった。	小	男	50代	—
興味があることを調べさせると目のかがやきが違っていた。	小	男	60以上	なし
異文化への関心は高めることができた。	小	女	29以下	—
国際理解で外国人講師を招いて、国の文化などを話したりしてもらったことが有効的であった。そこからもしばらく交流も続けられた。	小	女	29以下	社会
子どもはもちろん、自分自身の勉強にもなった。	小	女	29以下	なし
戦争・平和についてほとんど関心のなかった子供たちが、授業後には、2度と戦争を起ささない社会を作りたいという意識が持てたことがよかった。	小	女	29以下	理科以外全て
環境について取り組んだが、子ども達がリサイクルについて考えるようになりました。	小	女	29以下	社会
子どもたちが課題があるということに気付き、考えるきっかけになったことが成果だと感じる。	小	女	29以下	—
外国には、生活することさえも苦しい子たちがいることを知り、自分たちが幸せであることを子どもたちが実感できたこと。	小	女	29以下	—
15. 地球環境の悪化について 身近な川の水の調査から調べをすすめていくうちに地球規模の考え方ができるようになった。	小	女	29以下	—
各関連施設を見学したことで、学ぶ側の興味・関心が高まった。	小	女	29以下	図工以外全て
「はだしのゲン」を演劇することで児童が、戦争体験や平和について知りたいと興味・関心を強く持つことができた。平和や命の尊さについて考えることへつなげることができた。	小	女	29以下	—
学ぶ子どもたちが自分達と同じ年代の世界の子どもたちについて学ぶ中で自分たちの国や文化、他の国々の様子について実感しながら学ぶことができた。特にユニセフの方に外部講師に来ていただいたことは、直接関わっておられる生の声として、子どもたちの学びに役立ったと思います。	小	女	30代	—
一緒に体験できる取り組みはよかった。	小	女	30代	算数・数学
扱った問題について、子供たちが身近なこととしてとらえるようになった。	小	女	30代	全教科
(全ての国というわけではないが)外国のことに子どもたちがふれるよい機会となった。とても子どもたちが意欲的だった。グループエンカウンターを通して、自分に自信を持つとすることができた。	小	女	30代	小学校なので、全教科
ごみ問題を考えて、教室のごみが減るなどの効果があり、子供の意識が変わったこと	小	女	30代	—
日本だけでなく、世界を基準として考える子が出てきた。	小	女	30代	小学校全科
様々な国の方との交流を通し、外国語に興味を持ったり日本文化について認識する機会になった。	小	女	30代	—
子供たちになじみのない課題であっても、実践することによって、子供たちには関心をもつきっかけになるので、地道にとりくみたいと思う。	小	女	30代	—

■ 問 16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
福祉実践教室校区の施設の方との交流。老人福祉施設訪問。留学生や、JICAの方をまねいて行った「お話を聞く会」いずれも「人」と接することから、学ばせる活動	小	女	30代	
学校近くの幼稚園、老人ホームを訪問した。幼稚園では、優しくなっている自分に気付いて、自分ながらおどろいている子どもたちがいた。老人ホームでは、日ごろ高齢者とあまり接していない子が、とまどいながらも話しかけていた。これらの経験が、「おもしろい」の心、人権尊重の気持ちをはぐくむことになると感じた。	小	女	40代	—
異文化理解は、書籍よりも、実際に講師に来ていただいた方が、子供も教師も実感をもって理解することができる。	小	女	40代	音楽、総合
行えば行っただけの成果は出る。子どもたちは、とても真剣に考え、意識の中に残る。	小	女	40代	保健体育
子どもたちは、こんなことも知らないのだなあ…と思うことが、たくさんありました。環境問題、エネルギー問題、福祉問題など、教えていくべき知らせるべきことだと思い、授業で取りあげました。子どもたちは、初めて知ることも多く、こういった知識を持って、体験学習につなげていくことは効果があると思いました。	小	女	40代	幼児教育
教師が意欲的に学び求めていく姿をみせると、子どももついてくる。教材の導入時がポイント。話し合いをおりませっていくと個人追究が広がり、深まる。	小	女	40代	(英語)全科
自分自身の向上・子どもとともに学んでいるという充実感・子どもの視野が広がる。社会的なニュースに関心を持つようになった。	小	女	40代	算数・英語活動
地域を見つめる目のできた地域から見つめられる目のできた	小	女	40代	全教科(音楽)
準備等とてもたいへんな面もあるが、その反面子どもたちにとってはとてもよい学習・体験になった。	小	女	40代	—
子供たちの学ぼうとする意欲が向上した。	小	女	40代	—
異文化理解など、子どもたちは、自分では知りたくてもなかなか知る事ができません。講師の先生に、教えてもらう歌など、その他の異文化を感じられるものすべてが、新鮮でうれしそうでした。他の項目(南北問題、人権など)も、学校側から学ぶ機会を与えてやることは、大切だと思いました。	小	女	40代	—
身近なことで何かできることはないかさがすことができるようになった。子供から調べたことを伝えようとする意欲が育ってきている。	小	女	40代	書写以外・全教科
ワールド集会・地域に住んでいる、外国の方をまねいて、故郷の気候、食べ物、遊びなどを紹介してもらい、その時、その方の国の音楽、踊り(できる方には)、遊びなどを紹介してもらい、いっしょに楽しむ。和太鼓、法波を今年度購入してもらったので、イベントを行う時に、演奏や、おどりを取り入れてもっている。	小	女	40代	音楽
子ども自身が、どのように活動したり進めたりすることができるようにしたらよいか、わかってきた。	小	女	40代	全教科
子ども達が自分を他との関わりの中で見られるようになったこと。自分にもできることを見つけ積極的に行動に移せるようになったこと。	小	女	40代	全教科
本校の校区には、外国人も、(数は少ない方だが)住んでいる。児童と同じアパートにすんでいたりと、となりの家が外国人の家だったりする。そこで国際理解の総合学習を計画するとき、このような、本当に身近な外国の方に協力していただくと考えた。子どもたちが自分たちで何度も足を運び、「学校へきて、国のお話をきかせてほしい」と頼んだりいっしょにお国の料理を作るための打ち合わせや買い出しをやったりと、肌で感じることでできる活動ができた。このことは、外国人と言っても本当に同じ人間であり、となりに住んでいる身近で気さくな人、お互いに仲よくらしていきたいという気持ちを芽生えさせ、育てることに役に立った。よくあるような、知らない外国人にただ来ていただいてお話をきくだけだったりただ調べ学習をしたりするだけの総合学習では、なかなか身近に感じられないと思う。同じ人と一定期間、ある程度深くつきあってみることで、文化や習慣ものの考え方のちがいがいなども、子どもたちが身をもって感じられると思う。	小	女	40代	英語、算数

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
募金活動やフェアトレードなどに取り組み、自分たち子供でも世界の子供たちのために、できることがあると分かった。	小	女	40代	—
目に見えた成果がすぐには、表われなかったような気がします。	小	女	40代	全
地域の人たちや外部の人たちとのつながりができ、支援していただいた。	小	女	40代	理家特殊 学級(国)
・子どもたちが自分の学びたいテーマを中心に学んでいくので主体性が育ってきたように思う。	小	女	40代	
自分自身が、教える前に、実際に学習したり、外国人や国際理解教育に詳しい人から話を聞いたり、する機会を得ることができ、視野が広がり、熱意をもって取り組めるようになった。最初、2年前に取り組みをはじめた頃は、何をどう教えてよいものか、わからなかった。子供たちは、この学習を通して、自分に国のよさを考えたり興味、関心を広げたりする事ができ、外にも中にも、目を向けるようになった。	小	女	40代	
外国人(米国の人)と英語で遊ぶ授業 英語を使ったゲーム・アメリカの生活、遊び等の紹介・親子で参加する	小	女	50代	全教科
ワークショップに取り組み、積み重ねることを通して児童の考える力が深まり、また積極的に意見交換ができる児童が増えてきた。セルフエスティームが高まり、互いの考えを尊重し合えるようになってきた。	小	女	50代	全教科
子どもたちが、身の回りの環境が関心を持つようになった。「地球に優しい生活」に取り組むようになってきている。開発途上国の教育、食糧、医療に関心が持てるようになり、自らの生き方について考えるよい機会となった。(自分達が、とても恵まれている)	小	女	50代	全科(音、 除く)
子どもが主体的に学ぶ姿が見られた。自分だけのことを考えないで、共生の考え方が身につくつある。	小	女	50代	全教科
国際交流学習で、交流協会の方の話を聞いたり、交流協会をたずねたりして、子どもたちが外部の方達と話し合うことができたことが良かった。外部の方(オーストラリアの方、韓国の方も含む)との打合せで、子ども達自身が、「どのようにお願いしたらよいか」「どんなことを聞いたらよいか」など、コミュニケーションの取り方の実体験ができ、実のある学習となった。福祉の学習では、実際に体験活動を含めて、学習できている。外部講師(地域の方、保護者)の方とも、自由なふんい気で話し合うことができ、生きた学習となっている。	小	女	50代	全
韓国の人や中国の人とかかわりがもててよかった。(地区にいたので)	小	女	50代	算数
異文化に対し理解が深まった。	小	女	50代	全教科
子どもたちに現在の地球環境の現状を知らせることで、地球規模で、ものごとを考えることができる子が育ってきていること。	小	女	50代	—
コミュニケーション能力の育成については、全校体制で取り組んでおり、成果が上がっている。	小	女	50代	教務主任 (本年度国 語)
ディーゼル車の公害について調べ学習をさせたところ、子どもたちにそれ以前とは異なる地球環境に対する意識が生じてきた。	小	女	50代	—
授業形式に新鮮さがあり、子どもたちが興味関心を示す度合いが大きい。	小	女	50代	少人数・T T
自分自身が夢中になって取り組んだことは、児童にも、そのよさが伝わり、成果が上がったと思う。	小	女	50代	全教科
フィリピンの学校に行けない子ども達の話聞いたこと。米作りについて、地域の方々といっしょに仕事をしたり、昔の仕事の苦勞を聞いたりしたこと。	小	女	50代	—
国際理解教育は外国籍担当者2名が分担して学年やクラスに入りこんで各学年に合う内容のものをやっている。(昨年度、平14年から)担任はそういう余裕がないのでT、Tの形でやっている。子どもたちは日本とちがうこと、ものに興味を持ち喜んで調べてきたりする。外国籍の子は自分がクラスで発表できるのがうれしく一生けんめい日本語で伝えようとする。親も協力的で故国での写真など提供してくれる。	小	女	50代	日本語担 当(外国 籍)

■ 問 16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
福祉…実際に生の障害者の講演や、体験学習ができた時は、子どもの心に訴えるものがあり、とてもよかった。	小	女	50代	数学
国際理解・交流の学習を展開したところ、子供たちが世界の国々の文化のちがいに興味を示し、意欲的に活動した。	小	女	50代	算数・音楽・書写
学区内にあるブラジル人の子が通う全寮制の学校との交流を始めて4年目であるが、少しずつ交流が進み、名前を覚えたりサッカーや卓球を楽しんだりしている。またブラジルのことについて調べたり、日本の遊びを教えたり、互いに良い所を学び合おう、仲良くしようという気持ちが子どもたちに育っている。	小	女	50代	—
地球に優しいという見方が育ってきている。	小	女	50代	国語
子供たちは興味関心をもっている。	小	女	50代	全教科
環境問題、循環型社会についていろいろな方法で学習を展開したところ、おうちの方にもたくさんご協力していただき、教材(パンフレット、ビデオ)なども子どもを通じて持たせていただけて、学習がより深まった。参加型学習を行うことにより、作文の応募を進んで行ったり、地域の方からお礼の手紙をいただいたりして、意識がより高まった。	小	女	50代	—
総合的な学習の時間を使って、年間計画を立てた上で、発展的に、学習を進めることができるようになった。	小	女	50代	—
子どもたちの周囲を見る目が変わり、自分たちが何をしたらよいか、すべきかということに気づき、自分たちの将来について考える子どもたちが増えてきたこと。世界には日本とはずいぶん異なる国があり、いろいろな問題で苦しんでいる人たちがいることを知り、国際理解が深まってきたこと。	小	女	50代	図工、算数
6年「国語ヒロシマのうた」と社会科の学習から戦争、原爆について考えさせた。被爆体験者や戦地へ行っていた方が学区にいたこともありその方たちに協力してもらった。戦争や原爆について真剣に考えることができ、平和への願いを強くもつことができた。それを劇にしてみんなに伝えることもできた。教科の学習では体験できないことができた。	小	女	50代	—
子どもたちの興味や関心をいくぶんかか立てることができた。また、子どもたちの話す内容や質問から視野が広がりつつあることがわかった。	小	女	50代	—
ダイオキシン問題で、家庭・地域の協力が、ラインとして、子どもたちがとらえることができた。身近かな家庭での取り組みの必然性や大切さが分かり、子どもが生活に生かせるようになってきた。(ゴミ等)	小	女	50代	音楽
国際交流を学習することで、外国籍の子どもたちへの理解、交流が深まった。	小	女	50代	音楽・算数
ワークショップを通して児童自身が気づき、考えを出し合う中で、どの問題にも「共生」の考えが大切だと分かってきた。ワークショップの中で自己肯定感が高まり、自信をもって自分の考えを伝えたり、人の考えを受け入れたりすることができるようになってきた。	小	女	50代	全教科
英語の授業で貧しい国々の人についてその生活状況や日本の援助について話し合うことができてよかった。	中	—	40代	英語
学校外の多くの方々とふれあう生徒の生き生きとした表情や積極的な行動に感動した。学校生活の中では得られない満足感や達成感などが味わえる絶好の機会であった。	中	—	50代	—
生徒に興味や感心がもてたこと。	中	男	29以下	英語
様々な社会問題を、自分自身の問題として、捉える生徒が増えたこと。また、外国への関心が高まり、語学の修得にむけて、意欲的に取り組む姿勢が育てられたこと。	中	男	29以下	数学
生徒は教師が思うよりも福祉・環境に興味があり、意欲的に活動できる生徒が多かった。	中	男	29以下	—
異文化学習やコミュニケーション能力の学習により、海外研修に役立った。	中	男	29以下	英語
学習環境が整わない部分は、付倫会形式の活動が有効的であった。	中	男	30代	数学

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
在任外国人を学校に招き、質問会ができたことは、文献資料等では理解できないものを得ることができた。生徒の関心・意欲も高まった。学校行事(文化祭)で「点字」「手話」「車いす」「お年寄りとのゲートボール」の体験コーナーを設け、生徒の福祉に対する見方が広がった。	中	男	30代	社会
子どもたちの関心が多岐にわたっていることがわかった。適切な学習機会を与えると子どもたちはいろいろな事柄に問題意識をもつことができる。	中	男	30代	英語
国際交流の一環として、親善大使をお招きした。生徒の関心は非常に高かった。いつも来て下さるALTの先生以外の外国の人に出会う機会が生徒には新鮮だったようだ。	中	男	30代	英語
近隣の特養ホームに自主的にボランティアに行く生徒たちが出てきて、少人数ながらも数年来、後輩たちに受け継がれていること。	中	男	30代	—
別紙	中	男	30代	数学
・地域に生きる意識の高揚、世界への視野が広がるなど・自分自身の研修の場になった。	中	男	30代	英語
・個人追究の進めていく中で、自分たちにできることはないかと考え、募金活動に取り組んだり、自分の生活を見直そうとする生徒ができた。	中	男	30代	技術
中国からの転入生があり、その生徒の母親に講師をしていただき、中国の家庭料理を作った。	中	男	30代	理科
国際理解分野を担当しているので、担当分野の生徒には開発教育を進め、参加体験型の学習から楽しくやれている。NGO団体との協力もでき、新しい学校(今年転勤)でもできるように努力中です。	中	男	30代	保健体育 (総合は国際理解担当)
目に見えて生徒たちの意識が高まり素直に受けとめてくれることです	中	男	30代	数学
また2年目(新教科)(開発教育、国際理解教育)なので具体的なものは見えてきていませんが、学校全体として少しずつ理解が深まってきたと思う。基ソ学力の充実も確かに大切ですが、それにおとらず大切な人間の生き方共生という概念が教育にも生徒にも目ばえてきた気がします。	中	男	30代	英語
外部講師が具体的に話してくれ、生徒が興味・関心を高くもつことができた。	中	男	40代	英語
いろいろな問題に取り組んでみて、自分の地域をふり返ることができ、自分自身の考えもふり返ることができた。生徒たちにも世界につながる自分たちの地域という考えをもとに自分の地域、そこに住む自分をふり返る機会としていきたい。	中	男	40代	—
生ト会の資源回収の量が増えた	中	男	40代	国語
新聞を読み、教材として取り上げて、授業に活用したことは、国際理解を始め人類共通の課題に目を向けさせることで有効であった。今後も時事問題を取り上げながら授業を展開していきたいと考えている。(社会科でNIEを実践している)	中	男	40代	社会科
日本に留学中の韓国人の方に、日本に来て感じたことや日本と韓国の過去の歴史教育の違いについて話をしていただいたこと。拉致問題にもふれるということで朝鮮学校の先生も来ていただき今後、日本が進むべき立場(国際社会の中で)について少しは子供たちが考える指針ができたこと。	中	男	40代	—
成果がすぐに日常的な行動の変化として現われにくい場合が多いが、明らかに、世界に目を向け、視野を拡大していった生徒も少なくないと思う。(卒業後も国際協力に関心をもつ生徒とは情報を交換している。)	中	男	40代	社会科
調べ学習を通して、新しい発見があったり、予想外の実態を知ったりしたようだ。その中で、相手の立場に立って感じたり、自分や自分の周りの仲間に置きかえて考えたりさせることはできた。しかし、全体の中で感じたことや考えを発表し合わせたり、意見交換させたりすることにより、互いを高め合うことまではできていない。	中	男	40代	保健体育
各課題についての資料集めを行うため、知識が広がるし、課題が具体的にとらえられるようになる。	中	男	40代	社会科

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
海外研修に向けての実践をとおして、外国人とのコミュニケーションに対する興味・関心が高まった。	中	男	40代	社会
国際交流でマレーシア中学生を受け入れた。地域の人も巻き込んだ交流となり、異文化理解や外国人と接することで国際感覚を身につけさせることができた。	中	男	40代	理科
年々、直接体験が少なくなり、コミュニケーションが他の生徒どうまくとれない生徒の増加が目立ちます。そんな中で、「生きる力」の育成という観点から、総合学習で取り扱う、問13の内容は、他の教科単独では、学ぶことが難しい問題です。時間をかけて、教科・領域の枠を出て学ぶ問13の内容は、人間の成長と人格形成の観点から、とても大切だと思います。	中	男	40代	理科
テーマに対する生徒の自覚が少しずつ出てきた。	中	男	40代	社会
ALTがアフリカ友達の友達を集め、食文化を一緒に体験することで文化全搬にわたって理解を深めることができた。近隣の高校に留学している生徒が講師として来てくれ、日本の中学生がいかに恵れ甘えているか実感できた。	中	男	40代	技術・家庭
授業作りに向けて、いろいろな資料を調べたり、現地取材を実施したりすることを通して、自分自身の課題認識が深まった。問題解決学習を取り入れたことで、生徒の主體的な学習を引き出すことができた。	中	男	40代	社会
福祉について総合学習で取り組んだ。車いす体験、手話アイマスク体験、そして老人ホームや障害者の施設での1日体験を通して子どもたちが相手をいたわることの大切さと、感謝されることのうれしさを感じ、だんだん優しい気持ちが出せるようになった。	中	男	40代	理科
地域に川や福祉施設があり、生徒たちも身近かに感じられ、今後も定期的に訪問や調査などが進められる。福祉施設訪問では、日頃から老人とのふれあいの少ない、生徒たちは積極的に、話し合いやゲームに参加をしていた。	中	男	40代	社会
学校での教科で学べない学習ができ生徒の興味、関心が持続できる。	中	男	40代	数学
・広島一原爆資料館案内のビデオを見る→メモをとったあと自分で課題を見つける→課題について調べる→まとめる→発表する。様々な課題を見つけ予想以上にしっかり取り組めた。一人2分程度の発表会もしっかり出せた。原爆の威力B29などの課題もあったが、広島東洋カーブ設立の歴史を取り上げた生徒もいた。	中	男	40代	社会
生徒により身近な題材は関心が高くなる。	中	男	40代	英語
活動をする中で生徒が外の世界へ目を向けはじめた。その学生たちが将来にわたって学習を継続しようとする意欲をもちはじめた。	中	男	40代	美術
本年度、環境についての学習を行ったが、やはり、専門の講師さんによる講演は意義があった。今後も、講師招へいの場合の参考資料や、環境学習に関する情報が必要だと感じた。	中	男	40代	英語
自国(日本)の伝統・文化を知る。	中	男	40代	—
8. 福祉・障害者・高齢者についての取り組み。実際に障害をもった方々と、交流を深めることで、どんな気持ちで、生活してみえるのか、どんな点で不便を感じてみえるのかを知ることができ、変な同情は必要なく、かえって、失礼であることを知ることができた。	中	男	40代	保健体育
国際理解⇔人権意識・感覚だと思う。常に念頭において指導していく必要がある。	中	男	40代	数学
国際交流に積極的に取り組むことにより、生徒の外国人に対する姿勢がかわった。	中	男	40代	社会
修学旅行でNPO訪問を中心に学習を進めたこと、特にアジアを中心にしたが、意欲を持って調べ、関心を持つ生徒が見られた点。	中	男	40代	保健体育
生徒の環境問題に対する意識が高まった。	中	男	40代	理科
自分の生活を見つめ直す良い機会になった(生徒にとっても、私自身にとっても)	中	男	40代	数学
生徒の視野が広がった。	中	男	40代	社会科

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
子どもの興味・関心が高まった。自発的活動へと発展していくこともあった。特にボランティア意識の高まりが見られた。	中	男	40代	理科
豊田市とタイアップして「人権を考えるつどい」を実施。生徒や保護者の中に、人権についての意識が高まった。	中	男	40代	理科
生徒に様々な課題の存在を知らせ、興味・関心を高めさせることができたと思う。	中	男	40代	英語
地域、自分自身について、ひとりひとりが考えるようになった。	中	男	40代	体育
子どもたちが、自分のまわりに関心をもち、積極的にかかわるようになった。	中	男	40代	国語
JICA平日研修員派遣プログラムにより、外国の方と実際に接することができ、教師、生徒とも有意義なものになった。中学生年代において、直接外国の方と交流の時間をもつことの意義を強く感じました。	中	男	40代	保健体育
総合学習については「土曜講座」という、自由参加の形で行った。数は多いとは言えないが、参加した生徒の意識が深い所で変わっていった。	中	男	40代	国語
どの分野も自分(教師)にとって新しい発見があったのがよかった。	中	男	40代	数学
福祉分野の総合学習で、自分たちが体験することで、他者への思いやりの心が身についた。	中	男	40代	理科
22. コミュニケーション能力について、日頃、こうしたことを考える時間がない。少しでも、考えさせてみることは大切だと思った。	中	男	50代	数学
子どもは、もちろん、教師にも、発見、感動があった。思い出の残る学習となった。	中	男	50代	社会
社会科の地理・歴史を担当しています。十分な時間はとれませんが、人類共通の課題にいろいろな面からふれていきます。そこで学習したことが、生徒の問題意識となり、やがて総合学習などで調べ学習へ発展していくことを願っている。	中	男	50代	社会科
高齢化社会に対し、福祉障害をふくめて学習し、生徒たちに理解だけでなく、ボランティアなどに参加する意欲が目立って増えてきた。	中	男	50代	英語
地球環境の問題を教材で扱った結果、地球の温暖化やフロンの問題が身近に考えられる生徒が増えた	中	男	50代	国語
準備は大変だが、苦勞して準備しただけ自信をもって取り組むことができ、生徒の取り組みもよかった。	中	男	50代	社会科
地域・校区の人々の絶大なる協力があるのでとてもやりやすい。(他の地域から人を呼ぶ必要は特にない)	中	男	50代	理科(教務主任)
生徒たちと、一緒に学習を進めるながで、生徒と一緒に考え進めることができた。	中	男	50代	保健体育
発展途上国の大使館を少人数で訪問させたこと。	中	男	50代	社会
戦争体験を聞く会で講師を招いて講演会を開いたが、実に真剣に聞いていた。に基づく話がやはり心にしみいるものと思われた。そういう人材にめぐりあったことがよかった。	中	男	50代	社会
(例) 講師として来て頂いた障害者の方の語りかけは、何にも増して説得力があり、生徒も障害者の方への協力をおしまない「優しい心、思い遣りの心」を育むことができたということ。	中	男	60以上	国語
生徒とともに多くの知識を得ることができた。	中	女	29以下	英語
調べ学習などは生徒が生き生きと取り組む。また、生徒の関心が大きくなるのでよい。	中	女	29以下	英語
校外学習、参加型の学習と総合で行うことで、計画をたどるときの電話の対応などから、実際の地域の方に世話になりながらの活動まで、コミュニケーション能力であるとか、大人から学ぶことは多くあると思う。	中	女	30代	英語

■ 問 16 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
昨年度・今年度と総合の中で国際理解教育をやっています。調べ学習をさせたり、講師をまねいて講演をしたり、また参加型のワークショップをもったりと、NGOなどの協力をえながらやっています。生徒には普通の授業とちがってかなりインパクトがあったよう。卒業時に生徒から総合でこういうことを勉強してよかった。将来に生かしたいという声をよくききます。準備が大変でしたが、やってよかったなと思います。	中	女	30代	英語
大きな課題から自分の身の周りの小さな課題に気づくことができた。	中	女	30代	英語
広い視野に立って、物事を考えることができる。他者理解＝自己理解に気づくことができる。「人から学ぶ」姿勢が育つ	中	女	30代	社会
生徒達の視野が広がった。すすんで調べたことで、知識が増えた。	中	女	30代	社会科
実践しているその瞬間には生徒はいろいろ普段考えないことも考えようとしている。	中	女	30代	英語
子供たちが深く考えを持てるようになった	中	女	30代	家庭科
参加型学習は生徒が楽しんで参加できるものが多いので、プログラムの中に組み込むようにしている。	中	女	30代	社会
総合学習で学年のテーマを「平和」と設定し、講演やビデオ、新聞による学習のうち、生1各自に学習テーマを決めさせ、調べ学習から発表会、地域の方の戦争新報を聞く会を行った。「平和とは何か」と追究していくなかで「今あたりまえと思っていることは決してあたりまえではないのだ」という認識を生徒たちは持つことができた。	中	女	40代	国語
国際理解の基本は、人間理解だと思います。ジェンダー教育をしっかりとすると、うまく発展すると思われれます。クラス単位でしか実施していませんが成果を感じています。	中	女	40代	美術
グループ別に、課題に取り組み、校外に出て活動していくうちに学習に対する意識が高まったり、生徒同士の人間関係が良好になっていった。ゲストティーチャーを呼ぶことで、教師・生徒の意識が高まった。	中	女	40代	英語
昨年度、学校の合唱コンクールで広島原爆の歌を歌うことになった。そのため、戦争や原爆の一人調べ、紙芝居などを通して、学習を進めた。また、たまたま同僚が広島に行った折に、記念館のチケットや本を買ってきてもらって教室におく、など教室環境も整えた。三省堂の「折り鶴」作文にも応募して一人入選した。ほぼ3ヶ月使える時間をフルに使ってとりくんだが、よかったと思う。	中	女	40代	英語
自分自身が、よく知らなかったことについて、生徒と共に追究したり活動したりすることで自分も関心を持つようになった。	中	女	40代	数学
外部団体の催し物への参加(例:貿易ゲーム、フェアトレード活動)することで自らの体を動かし、学ぶことから、生徒たちが変わっていく姿をみることができた。	中	女	40代	理科
生徒の追究課題について授業計画を立てる上で	中	女	40代	国語科
学年や学校全体で取り組み、年を重ねるごとに内容にも深まりができる。(個人で行うには、考え方の差異や偏見のまじる可能性があり心配。日本人は国際情勢にうとく、マスコミの報道も一面的。)	中	女	40代	国、英
生徒の中には、国際理解教育に熱心に参加し、その後、高校生、大学生になっても関心が継続しているものや、自ら行動をおこしている者、進路を国際協力に関連する方面に求めた者などがいる。また、自分自身が多くを学び視野や考え方を広げること	中	女	40代	美術
エンカウンター・プログラムの「大使になろう」・協力、調べること、まとめること、発表すること、聞くこと、問うこと、ふりかえること、成果をわかちあうことなどバランスよく指導できた。	中	女	50代	—
福祉・障害者・高齢者についての総合でのとりくみは、身近でよい体験や学習ができるので地域の協力をもらいながらいい実践ができた。今後もやっていきたい。	中	女	50代	英語
視野が広がり社会問題への興味・関心が高まったこと。	中	女	50代	数学
大学院生のボランティアが活用できる。地域で海外ボランティアをしている方に講師をしていただいた。	中	女	50代	家庭科

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
英語科の担当なので、text1に出てくる内容はすべてもつとふくらませ総合学習に求められる内廻に発展させることは可能であるが、私の努力不足でまだ理想にはほど遠い状態である。	高	男	29以下	英語
生徒が問題意識を持つようになった。	高	男	30代	数学
どんなレベルの生徒でも、なんとか実施できることが、やってみてわかった。	高	男	30代	英語
他の先生方はよく協力していただき、うれしかった。生徒が普段講義とは異なる授業形態に興味をもち積極的に参加してくれると嬉しい。	高	男	30代	地歴・公民
修学旅行の事前学習と、公民科の授業を関連させて、パレスチナの現状から平和を取りあげた授業。	高	男	30代	公民
生徒に煙草・薬物・エイズ・骨粗しょう症など将来の健康の為に今から用心することを深く追求させることができた。	高	男	40代	理科
生徒のものの見方や考え方において、明らかに変化が表れてきた。	高	男	40代	国語
掘り下げて授業をした時の生徒の反応はよい。	高	男	40代	地歴・公民科
人類共通の課題に取り組むことは、生徒の学びへの意欲向上につながると考えています。また、コミュニケーション能力について議論の構造が理解できつつあります。	高	男	40代	数学
子供たちが、身近な町のことをもう一度見直すきっかけとなり、自分で体を動かして資料集めをして、1つのテーマについてまとめる体験ができたこと。	高	男	40代	—
生徒が主体的に課題に取り組む姿勢を養えたこと。	高	男	40代	社会
国際的に理解が深まった。現代社会への関心が高まった。	高	男	40代	英語
私自身の経験(青年海外協力隊昭和51年度1次隊ガーナ派遣)を生徒に読ませて感想を聞いた。生徒に開発教育、異文化理解について考えさせることができたと思う。	高	男	40代	外国語(英語)
海外からの留学生が持つ学ぶことへの“姿勢”に直接触れさせることができ、生徒の何割かはよい影響を受けたと思う。	高	男	40代	
高齢者のイメージに関してのブレンストーミングからKJ法によるグルーピングを利用したの発表を行った際、普段は発言を一切しない生徒からも意見を聞くことができた。このことを足がかりにユニバーサルデザインのデザイン等を実施したが講義形式のものより意欲的に生徒は取り組むことができた。	高	男	40代	公民
ホームルームの取り組み1学園祭で、フェア・トレードで購入したバナナ、コーヒー、砂糖などを使って料理し、販売した。食べるという身近なことだけに、考えるきっかけとなった。2ケニアのNGO、支援のためにケニアの民芸品などを販売し、収益を寄付した。	高	男	40代	国語
世界のエイズ問題の深刻さについての理解を促す授業。生徒の反応が予想以上に真剣であった。	高	男	40代	英語
問題としては、生徒たちもわかっているが、実際にとり上げ、彼らが調べる学習や取り組んでみた結果自分たちの問題としてとらえようとしていること。	高	男	40代	地歴
ごみ・廃棄物・循環型社会に向けて、生徒がテーマを設定し、それについてよく調べ、ディスカッションを行う。それだけでなく、仮説を設定し、データに基づいて論文を作成する。そして、応募し、入賞する。さらに内容についてパワーポイントで発表するなど一連の学習で生徒一人ひとりが成長したことが良かったと思います。	高	男	40代	商業(環境教育心理学)
生徒会の役員組織を動かし、国際事件や出来事から興味づけを行い、それを全校の取り組みへ拡大させることはよかった。また、短期的な取り組みではなく、学校の特色ある取り組みとして、長期的に行うと、ノウハウや情報が増え、生徒の理解や活動も深まった。その際「青年海外協力隊員」と交流できたことは、マスコミには出てこない現地の様子が分かり、生徒の反応は一層高まった。	高	男	40代	国語
模擬国連の実施異文化理解(英語)の授業における外国人講師による講義	高	男	40代	英語

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果

意見	学校	性別	年代	担当教科
(WS型式の授業で)…生徒の反応や思考が活発になると共に、よく見えるようになった。話し合いや協同作業への低抗感がなくなり(生徒間で)スムーズになった。他人の発言や発表を、自分の考えを広げるための手段として活用しようという姿勢が出てきた。	高	男	40代	社会(地歴)
現在授業の中では組み入れてなく、教養講座のような形で図書館主催行事で行っている。希望者を集めているので、関心度の高い生徒が集まる。普通の授業では得られないことを自分の目で足で探究できるのがよい。	高	男	50代	英語
世界の宗教に関わる学習でNHK番組「千日回峰行」を視聴した。平安仏教の位置、修行者の姿について知識を得るとともに感動を与えた。	高	男	50代	地歴公民
問題意識の形成、視野の拡大、主体的に取り組む態度等において学習効果が見受けられた。	高	男	50代	—
社会的な知識に対して、こちらが思う以上に、生徒達の興味関心が高かった事。	高	男	50代	理科
生徒の関心が高まって、質問も良く出るようになった。	高	男	50代	理科
準備が大変であり、教員間の理解をうるのが大変である。勤務時間中に準備できないので、家へ仕事をもって帰ることになってしまう。	高	男	50代	数学
全てが自分の生き方にかかわる問題であることを生徒に理解させることが出来た点。	高	男	50代	地歴公民(世界史)
国際的な事項に興味のなかった生徒が僅でも興味を示すようになったケースがある。ただし総合的な学習の時間が課題研究という科目で代替されているため、この科目では設定が難しい。商業科の科目の中で国際経済という科目(選択)で対応しているだけなので限界がある。また、教員の中にも国際理解に対する意識が低い者がいる。良かったことは留学したいという希望の生徒が出てきたことである。	高	男	50代	商業科
ふとした折りに生徒の口から、それらしい一言が発せられたりする。記憶に残っているだけで半ば成功だと思う。	高	男	50代	国語
生徒に興味・関心を抱かせることが出来た。	高	男	50代	理科
1. クラブ(International Co-Operation Club=ICC)で、ネパール学校建設計画を立ちあげ、ネパールツアーを実施し、小学校を2校つくったこと2. 土曜講座で、ネイティブ・ゲストを招いて「音楽と料理で国際交流」を年6回開催し、これを7年継続していること。(一般市民を対象に)3地域のNGO活動にクラブ等に参加していること。4その他	高	男	60以上	英語
リーディングの時間を使い、ベンガル語の練習、民族衣しょうの試着を通じ途上国への興味が見られたし、外国語が英語のみでなく、日本語にも似たより親しみがあり面白い言語があることが伝えられた。協力隊の話をする事で、途上国への興味、進路などの相談が増えた。ライティングのクラスでの、調べた学習で、途上国に対する意識の高まり、自国に対する関心が高まった様に見えた。ボランティア活動に参加したい生徒もでた。	高	女	29以下	英語非常勤講師
ほとんどの生徒たちが自分たちの正義感を刺激されたようで、自分たちの問題として考えてくれたこと。	高	女	30代	利理歴史、公民
修学旅行前に事前学習として平和教牧をしますが、戦争の話など実際におこったことであり、生徒し真剣に取り組みます。現地へ行った時の姿勢にも表れます。	高	女	30代	国語
生徒の視野が広がる。	高	女	40代	家庭科
「現代社会」の授業、「英語」の授業など、何のために学ぶのか、という根本的な面を大切にできるという良さを感じました	高	女	40代	英語
生徒の関心が高くなると、社会問題について語り合えるので楽しい。希望がもてる。部活のようにして取り組んでいるメンバーはとても楽しそうに色々自分達で活動していて、すごいと思う生徒のためにもなっていると思う。	高	女	40代	英語・社会(国際事情)
教員間の話し合いの時間がふえた、(情報交換や多様な学習方法の研究などに成果がある)生徒のいろいろな面が発見できる。話す内容にも変化があり社会問題にふれる機会が増えた。なかなか指導しにくいコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育てる試みが可能になった。	高	女	40代	生物

■ 問 1 6 学校において「人類共通の課題を扱う教育」に取り組んだことによる成果 T

意見	学校	性別	年代	担当教科
英語の教材で、ジェンダー、福祉、環境、異文化理解などをテーマにしたものを扱い、生徒の理解や意識を高めることができました。	高	女	50代	英語
生徒の視野が少しなりとも広がったかと思えます	高	女	50代	英語
教科の授業の見直しになる。	高	女	50代	国語
児童・生徒が授業で経験したコンピュータを進んで活用し、インターネットによる情報収集や画像処理等の活動が行えたこと。少人数のため学年を越えた学習集団で行ったが、活動を通して問題解決の方法の基礎的な要素(調べる・話し合う・思考する等)を学ぶ機会が持てたこと。	特	男	30代	—
学校間交流の実践にともなって生徒自身が自ら何をして楽しむか考えたり、計画することができた。・国際交流の実践を通して生徒自身が自らコンピュータを使用して調べ学習をしたり、発表したりすることができた。	特	男	40代	保健体育、 数学
昨年度から韓国への修学旅行を実施したが、韓国の豊学校と交流する中で、実際に韓国への歴史遺産や文化に接する中で日本以外を感じることができ、そこで疑問に感じたことを中心に、実体験を通じた授業作りの方向性を見い出すことができた。	特	男	40代	国語
大きなテーマで難しそうだと敬遠しがちだが、生徒の興味を引きやすい身近な題材を糸口にし少しずつ考える話題にするところから始めた。そうすることでまた基礎学力の方へもどる学習に気づくこともできた。	特	男	40代	総合的な 学習の時間
戦争・平和では、修学旅行の行き先(長崎)とタイアップしているので、帰ってきてから生徒が印象深く話してくれたことがうれしかった。[1]プラスチックを糸状にするなどの実験では、生徒の驚きが大きく興味を持って取り組めた。プラスチックのリサイクルで、布・服ができることが実感できた。[17]地元の方にクラスで昔の自然について話していただいた。学校のある地域のことに関心が高まった。	特	男	40代	数学
外国への興味、関心が広がった。リサイクル及びごみ問題の知識が得られ、生活に生かされた。	特	男	40代	美術
本校での学習は知識重視よりも体験的学習が中心である。社会問題に関心を持ってもらうためには、ニュースや新聞などで扱われている内容(言葉)だと、興味が持ちやすい生徒が多かった。	特	男	40代	数学
・ごみの分別、リサイクル等で学んだことを子ども達で実践してくれたこと。・教科書の学習を通して、世界の高校生とのつながりを感じられるのが良かった。	特	男	40代	理科
パソコンの操作を習得することができ、情報の収集力が向上した。	特	男	40代	理科
生徒は「へえ」と聞いている程度。	特	男	40代	英語、自立 活動
国際理解・交流で伝統のある小学校で教務主任を経験したことは、苦勞も多かったが、よい体験も多くもつことができました。	特	男	50代	社会
外部には講師として、多くの方々の存在がわかった。どなたも友好的で活動・内容が思った以上にふくらんだ。予算措置がないことが苦しい。外部の方々にはボランティアで協力してくださった。	特	女	30代	保健体育
ALT(インド出身の方)に日本の伝承あそびを紹介する活動で、どのようにしたらわかりやすく説明できるかを、子どもたちなりに考え、自分たちの力で何とかがんばろうという姿が、みられるようになったのがうれしかった。	特	女	30代	—
テーマにそってできるだけ外に出て、自分で質問し、感じたことを記録していきました。いろいろな出会いがあり、生徒、教師ともに感動し「総合学老をやって良かった」との感想を持ちました。	特	女	40代	英語
体験を通して学ぶことの意義を、生徒の感想などからしっかり認識した。(特に国際理解や環境問題など)	—	—	—	—